



学校通信

我が輩はトラフズク

令和7年10月21日 No.7

弘前市立第三中学校（担当：教頭 前田 達哉）

創造・感動・笑顔

心の血

校長 小笠原 恭史

もし心の血が見えたなら、現代社会は血だらけかもしれません。
心を傷つける武器が、規制もなく放置されているからです。

心を傷つける武器、それは言葉です。ちょっとした振る舞いです。
そう考えると、日常は暴力にあふれています。
平気で「キモッ」「ウゼー」と撃ち合い、最後には「シネ」とさえ放つ。
もし、心の痛みに応じて血の量が見えたなら、きっと救急車を呼びたくなる
ほどの惨状でしょう。

もっと怖いのは、そんな言葉の暴力にも血が流れなくなっている心です。
それは強さではなく、麻痺し、生気を失った状態です。

やめればいいと誰もが分かっているのに、簡単にはやめられません。
教室やSNSで銃が乱射されている中で、どうするかということなのですから。
撃って（言って）自分を守ろうとしてしまう気がしませんか。
特に、学校のように「居なければならない場所」では、なおさらです。
武器は、みんなで置かなければなりません。

言葉の武器は核兵器のようなものです。
たとえ自分に向けられたものでなくても、聞こえるだけで放射能のように
心に蓄積し、やがて心身を侵していきます。

また、無視という振る舞いも鋭利な刃物です。これは言葉以上に危険です。
音もなく、誰にも気づかれず、標的にされた人だけを深く傷つけるからです。

この攻撃を一度でも受けると抵抗力を失い、普段なら跳ね返せることすら
苦しくなってしまいます。
時に、こうして傷つき動けなくなっている人を「弱い」と言う人がいます。
それは、血だらけの人に「弱い」と言っているのと同じです。

形のないもの、見えないものは“無いもの”とされがちです。
しかし、心は確かにあります。
あの悔しかったとき、胸の奥がぐっと突き上げたあたりに。
あの悲しかったとき、キュンと締めつけられたあたりに。
そこに、心は確かにあるのです。

血を流した心を癒やすものがあります。
それは、思いやりです。
思いやりも、言葉と振る舞いで届けられることを、私は伝え続けます。

身近に心の血を流している人はいませんか。思いやりを届けましょう。
三中が思いやりにあふれ、あなたの心が元気でありますように。

第72回弘前地区少年防犯弁論大会

9月19日（金）、本校を会場に第72回
弘前地区少年防犯弁論大会が開催されまし
た。本校からは代表として2年生の2名が
出場しました。

2年4組の今井ゆうきさんは「違うから
こそ必要だ」、2年1組の寺島夢見月さんは
「私の決意」という演題で堂々と発表しま
した。2人とも、今の三中が目指す多様な個性が協働する学校について等身大の目線から
も深く掘り下げた内容でした。

三中祭で生徒や保護者の前でも発表し、全校の心を整えてくれました。



三中学区あいさつ運動（三中学区小・中PTA連絡協議会）

10月1日（水）の朝、三中学区小・中PTA連絡協議会で実施
することを確認した「三中校区あいさつ運動」を文京小・三大小・
大成小と合同で行いました。当日は、ボランティアの生徒43名が
母校の小学校で「あいさつ運動」に参加しました。

校区内の学校が同日に行うことで、保護者の方々が、より参加し
やすくなるようにしました。



思春期教室 ～大事にしてほしい自分の心と体～

10月3日（金）、弘前総合医療センター産婦人科医：赤石麻美
先生を講師にお招きし、3年生を対象に思春期教室を行いました。
「大事にしてほしい自分の心と体」を演題に、“男女の交際につい
て、性衝動や自己調整力の必要性を理解させる。”“性感染症の実
態を知り、その予防と責任ある行動をとる自覚を促す。”“LGBTQ
や性の多様性”などについて学ぶ機会として行いました。

生徒からは「性感染症は、出産や生まれてくる子どもにも影響
が及んでしまうので怖いと思った。」「自分の周りにLGBTQ人がいたら、少しでも支え
になりたい。」「これからの人生で必要なことを知ることができ、よい経験になった。」など
の感想があり、自分の心と体を大事にしていくことの大切さについて考える機会となりました。

11月4日（火）には、1年生の「思春期教室」を実施します。



1学年の理科で出前授業がありました。

10月8日（水）に、日本科学技術振興財団・科学技術館から
講師をお招きして、1年生を対象に「放射線に関する出前授業」
を行いました。“放射線の特性や身近な活用例、危険性等に関する
理解を深め、自ら行う実験の結果をとおしてものごとを科学的に
とらえ、客観的に自ら判断できる能力を身につけさせる”ことを
目的として行われました。生徒は「霧箱」という装置を使った実
験に興味深く取り組みました。

様々な実験をとおして、身の回りの色々な所に放射線が存在していることや、その半減
期のことなど、安全利用に向けて様々なことを学ぶことができました。



三中祭 My color ～輝け個性～

9月25日(木)・26日(金)の2日間、「My color ～輝け個性～」をテーマに三中祭が開催されました。開催に先立ち、校長から「1、2年生と3年生の底力が融合する三中祭になります。準備の楽しさ、当日本番の一瞬の煌めき、後片付けの寂しさなど、祭りを味わってください。」と話がありました。

当日は雨のため、タイムテーブルの一部に変更がありましたが、全てのプログラムを実施することができました。学年や学級、委員会、部活動で力を合わせ、それぞれの役割を果たしながら生徒が一丸となって取り組み、温かい三中祭となりました。閉祭式では、生徒会長から「みんなに支えられ、みんなと協力することができ、とても幸せでした。」と全校生徒へ感謝の言葉が述べられていました。

保護者の皆様にはPTA模擬店への御協力、ご観覧、ありがとうございました。



美術部作品



全校制作



開祭式



応援団発表



シゲ学習発表



国際交流発表



演劇部発表



PTA模擬店



1年バラエティーショー



2年バラエティーショー

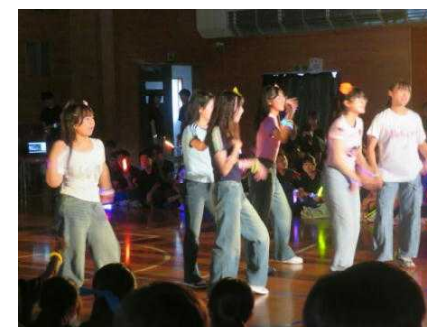


3年バラエティーショー

三中学区の子ども像(15歳の姿) 地域を思い、未来に向かって主体的に学び、心身ともにたくましい子ども



生徒会企画



3年ダンス発表



閉祭式

■バラエティーショー

【1年】金賞：2組 銀賞：3組 銅賞：1組
【2年】金賞：4組 銀賞：3組 銅賞：1組・2組
【3年】金賞：2組 銀賞：1組 銅賞：3組・4組

■シゲグランプリ

【1年】金賞：2組 銀賞：3組 銅賞：1組
【2年】金賞：4組 銀賞：1組 銅賞：2組・3組
【3年】金賞：3組 銀賞：4組 銅賞：1組・2組

■シゲプロジェクト(学級対抗)

【1年】1位：2組 2位：3組 3位：1組
【2年】1位：1組 2位：2組 3位：4組 4位：3組
【3年】1位：3組 2位：1組 3位：2組・4組

11月の予定

4日(火) 短縮①～⑥、生徒会委員会
⑤⑥1年生春期教室
5日(水) 平常①～⑤
3年第5回実力テスト
6日(木) 平常①～④、給食あり
*下校13:40
*校内研修会(3年3組)
7日(金) 短縮①～⑥
⑥2年健康コアカリキュラム
県中学校総合文化祭
10日(月) 短縮①～⑥、1・2年教育相談
第2回3年三者面談
11日(火) 短縮①～⑥、1・2年教育相談
第2回3年三者面談
12日(水) 短縮①～⑤、1・2年教育相談
13日(木) 平常①～⑥



*変更になる場合もあります。

14日(金) 平常①～⑤、3年11月テスト
17日(月) 短縮①～⑥
18日(火) 短縮①～⑤、職員会議
19日(水) 短縮①～⑤
三中学区小・中連絡協議会
20日(木) 短縮①～⑥
21日(金) 平常①～⑤
1・2年11月テスト
25日(火) 短縮①～④
⑤⑥後期生徒総会
26日(水) 平常①～⑤
27日(木) 平常①～⑥、特別支援小中交流会
28日(金) 短縮①～④
⑤参観授業13:45～
学年・学級懇談15:10～

○思いやりの心をもち、共に生きる ○すすんで学び、あきらめない ○心と体をきたえ、笑顔を広げる